

## 認知症作業療法 活動計画（概要）

愛知県作業療法士会（以下、愛知県士会）では、認知症施策推進大綱、愛知県独自のオレンジタウン構想を踏まえ活動の見直しを行い、認知症の方が自分らしく暮らし続けるために必要な支援内容について、検討している。

また、地域包括ケアシステム実現を目標に「地域包括ケアに資する人材育成研修」を開催している。総合事業を通して、地域生活を支える体制が作られてきており、この体制を活用した認知症の方への支援を進めていきたいと考えている。さらに、診断直後の生活からどのような支援が必要なのか、支援の際の課題などについて、状況把握を進める。

## 世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

昨年度より会員の作業療法士がキャラバンメンバーのメンバーとして、RUN伴に参加している。今年は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、引き続き、地域と一緒に作業療法の情報についても発信する。今後、ホームページやSNSなどを通じて、世界アルツハイマー・デーの啓発活動を行う。



## 認知症の人と家族の会との連携事業

愛知県士会として連携事業は行っていないが、会員の作業療法士が認知症の人と家族の会愛知県支部の世話人を務めている。若年性認知症ご本人・ご家族交流会（元氣かい）や認知症介護家族への認知症の方への作業療法の講義（家族支援プログラム）、ケアラズカフェ、認知症介護家族のための仕事と介護の両立支援プログラムなどに参加している。

## COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

COVID-19への対応として、認知症の方に対する具体的な対応は行っていない。愛知県士会活動への影響として、対面での研修会は開催せず、オンラインでの研修会を計画している。また、認知症に関連するイベントの中止や参加の自粛などにより、連携・情報収集の難しさがある。

## 研修会事業及び行政との連携

2019年度は愛知県士会として認知症基礎（アップデート）研修会を開催した。また若年性認知症のご本人を講師として招いて県内で行われた研修の後援を行った。

認知症の方を支えるための技術は、地域包括ケアシステムを実現するために必須である。地域包括ケアシステムに資する人材育成研修会と合わせて、人材育成を行っていきたいと考えている。

今年度から名古屋市若年性認知症自立支援ネットワーク会議に参加の依頼があり、会員の作業療法士が委員に就任している。若年性認知症の人に対して発症初期から高齢期まで本人の状態に合わせた適切な支援が図れるよう、医療、介護、福祉、雇用の関係者が連携し、支援ネットワークを構築することを目的としている。

